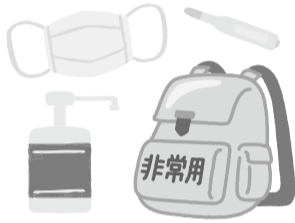


しましよ 感染症対策

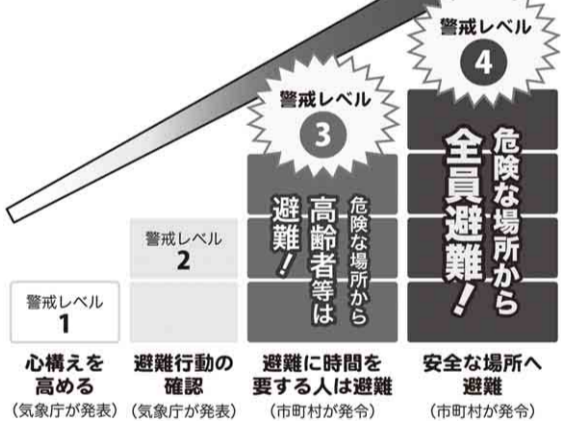
この特集の問い合わせは
危機管理課
☎483-1151(代表)へ

市の備蓄品には限りがあります。避難所に避難するときは、災害用備蓄品に加え、マスク、体温計、手指消毒液などの衛生用品の持参をお願いします。避難所ではマスクを着用し、こまめに手洗いするなど基本的な感染対策を徹底してください。万が一、発熱や咳などの症状が出た場合は、施設管理者に申告し、指示を受けてください。

風水害などの災害も感染症対策も、事前に備えることが大切です。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、日頃から防災について家族で話し合っておきましょう。



災害発生の危険度



【警戒レベル5】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

▲大雨や洪水時は警戒レベルを参考に、早めの避難行動をとります(政府広報オンラインより)

情報入手するために

災害時、緊急時に備えて複数の情報入手方法の登録、利用をお勧めします。

■テレビで気象情報を確認 チャンネルをNHKにして、リモコンの「データ」か「d」ボタンを押すと防災・生活情報が確認できます。

■防災無線・広報車による広報 地震、台風、大雨などの災害時に、正しい情報を迅速に伝えることができるよう防災無線での広報や、市の広報車や消防署や消防団の車両による災害情報の発信を行います。



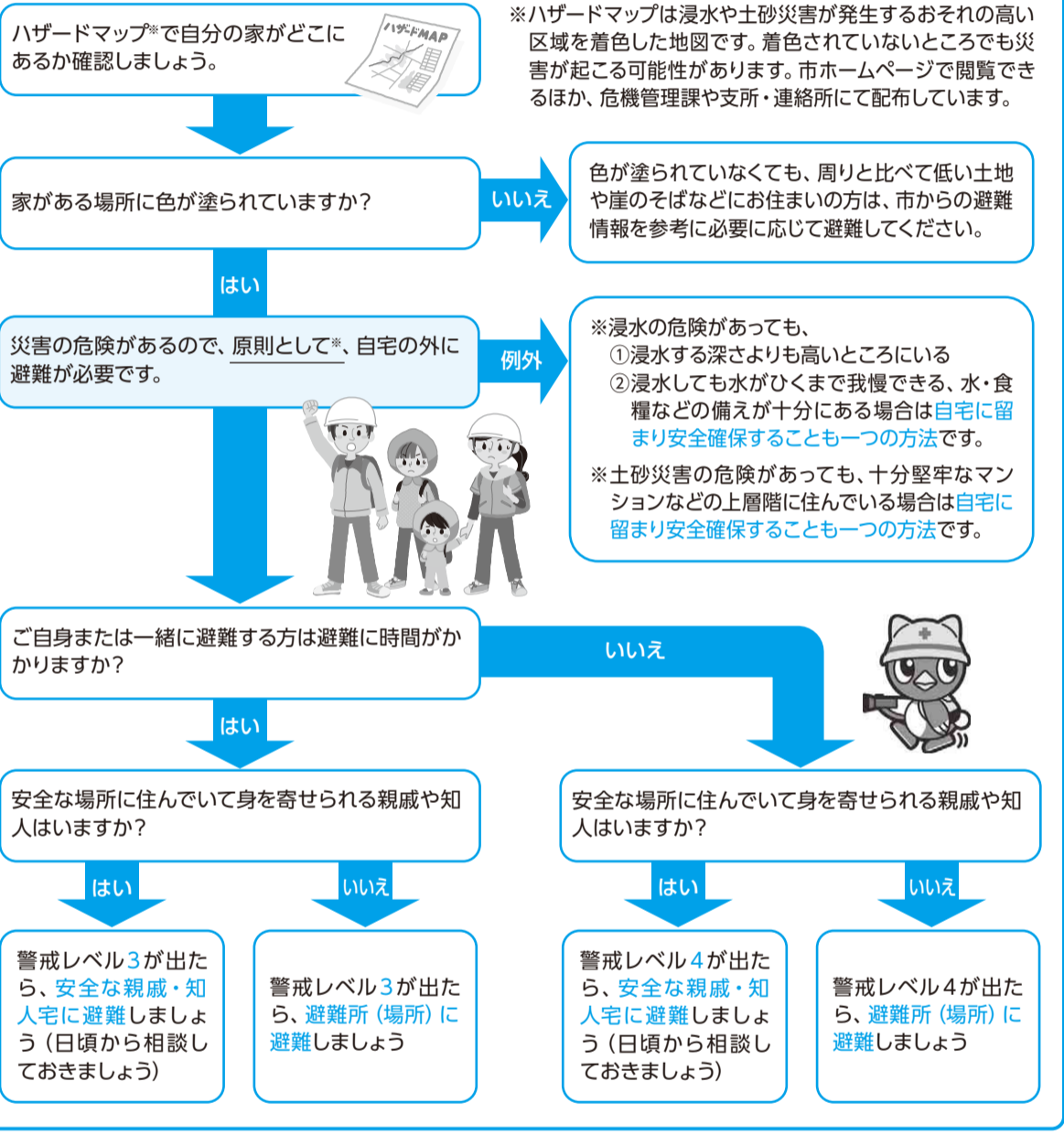
■自動電話応答サービス0120-970-911 通話無料。防災無線の放送内容が確認できます。

■やちよ情報メール 防災情報などを登録した携帯電話・スマートフォンやパソコンのメールアドレスへ電子メールで配信します。登録方法は右下のコードを携帯電話のカメラ(バーコードリーダー)で読み取るか「☒yachiyo@sg-m.jp」に空メールを送信してください。登録案内メールが自動的に配信されますので、確認して登録してください。



■その他 市HP、Twitterなどにも災害情報を掲載しています。緊急の場合は、緊急速報メールでもお知らせします。

あなたがとるべき避難行動は? 避難行動判定フロー



新しい農業委員会の体制が決まりました

任期の満了に伴い、新たに14人の農業委員会の委員と12人の農地利用最適化推進委員が決定しました。任期は7月20日～5年7月19日までとなります。

■農業委員 市川和彦、稲垣哲也、小名木伸雄、加茂太郎、黒崎玲子、齋藤孝一、佐藤孝之、島村単人、將司実、鈴木正範、立石勝則、花島淳、間野恵一、安原清

■農地利用最適化推進委員 ▼第1区(旧大和田町) 鈴木美登、長岡勇、中基保美 ▼第2区(旧陸村) 櫻井正浩、立石秀夫、戸田真一、吉橋清一 ▼第3区(旧阿蘇村) 今井茂、小林正樹、志田啓佑、立石猛、綱島和朗 *カッコ内は区域の概ねの位置。いずれも敬称略・順不同 (農業委員会事務局)

業、観光を指します。(商工観光課)

募集 八千代市産業振興審議会の市民委員

産業の振興を推進するため、産業の振興に関する事項を調査審議する「八千代市産業振興審議会」の市民委員を募集します。

▼資格 市内在住の成人で、年2回程度行う昼間の会議に出席でき、本市の審議会などの委員を5つ以上兼ねていない人
▼募集人数 2人 ▼報酬 1回につき7000円 ▼任期 11月1日～4年10月31日 ▼応募方法 9月14日(月)必着で任意のA4用紙に住所・氏名(フリガナ)・電話番号・年齢・性別・主な職歴・応募理由を記入し、「私の考える八千代市の産業振興について」と題した800字程度の作文を添えて、〒276-18501市役所商工観光課へ持参、郵送または市ホームページ「市民委員の公募」から応募してください ▼選考方法 書類選考。応募書類は非公開、返却しません。選考結果は応募者本人に通知します。*本テーマの産業とは、商業、工業、農業、観光を指します。(商工観光課)

オーエンス八千代市民ギャラリーで「平和展」を開催

「核兵器や戦争がもたらす脅威」をテーマに、その脅威と悲惨さを広く伝えます。戦争の記憶を伝え、平和への想いを深めてもらうため、戦争に関するパネルや、市民などから平和の願いを込めて寄贈された千羽鶴を展示します。

▼日時 8月26日(水)～9月4日(金)午前9時～午後5時(4日は正午まで)。8月31日(月)は休館日 ▼場所 オーエンス八千代市民ギャラリー第1・2展示室 (シティブロモーション課)



▲昨年の展示の様子